

東北農政局管内における農業農村整備の概要等

令和7年2月21日

農林水産省

東北農政局 農村振興部 設計課

目 次

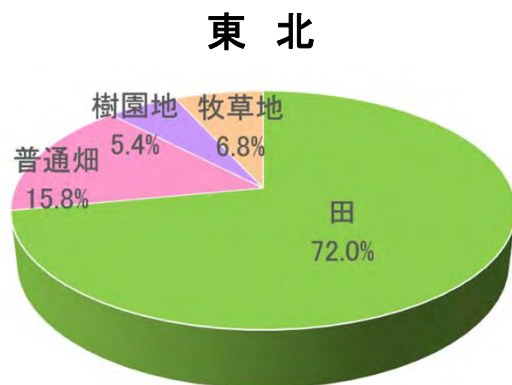
1. 東北農業の概要	1
2. 東北の農業農村整備の現状と課題	5
3. 東日本大震災からの復旧・復興	16

1 東北農業の概要

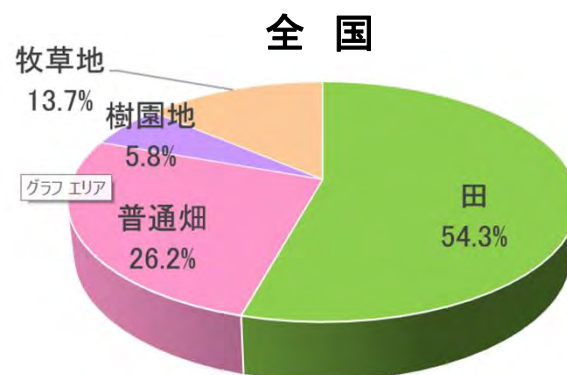
1 - 1 耕地面積、総農家数

- 東北の耕地面積は809,600haで、全国(4,271,500ha)の約19.0%のシェアを占めています。田畑別耕地面積割合をみると、東北の田の割合が72.0%と全国(54.3%)に比べ高くなっています。
- 東北の総農家数に占める販売農家の割合は68.9%と、全国(58.8%)に比べ高くなっています。

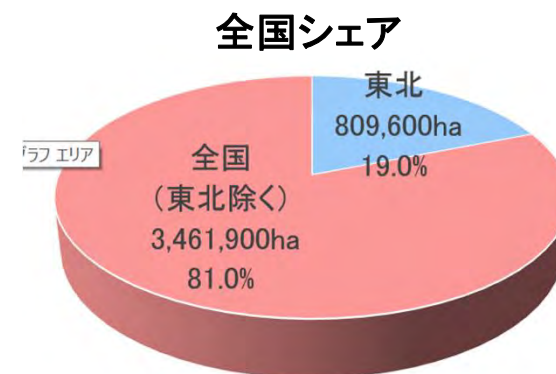
◇田畑別耕地面積の割合(令和6年)



耕地面積(東北計)809,600ha

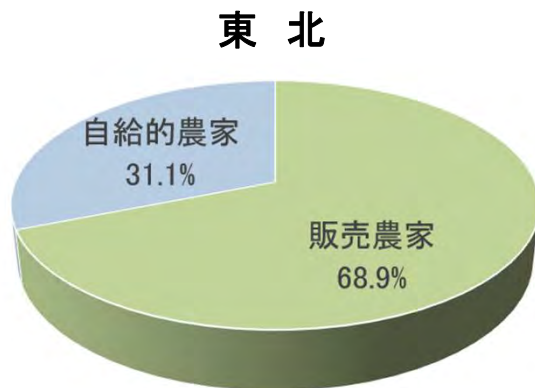


耕地面積(全国計)4,271,500ha

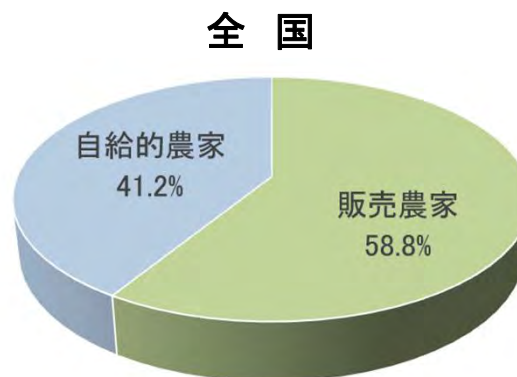


資料:「令和6年 耕地面積(7月15日現在)」農林水産省

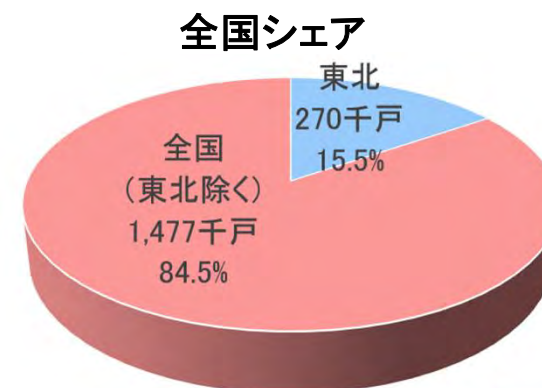
◇販売・自給的別総農家数の割合(令和2年)



東北計 270千戸



全国計 1,477千戸

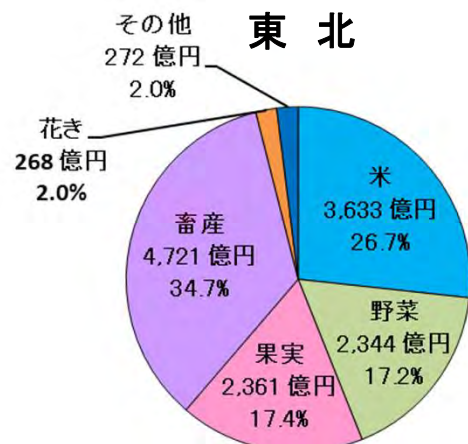


資料:「2020年農林業センサス」(農林水産省大臣官房統計部)

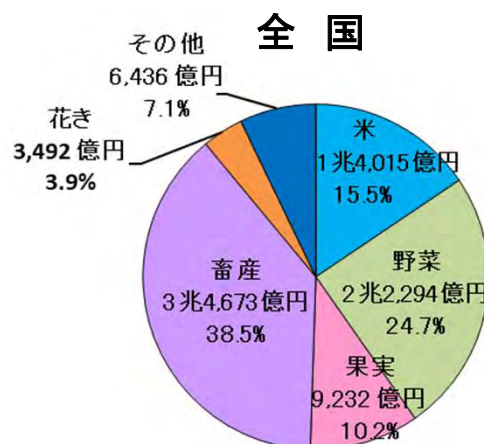
1-2 農業産出額

- 東北の農業産出額は約1兆3,599億円で、全国(9兆142億円)の約15.1%のシェアを占めています。
- 東北の部門別構成割合でみると、上位は、畜産が4,721億円(34.7%)、米が3,633億円(26.7%)、果実が2,361億円(17.4%)、野菜が2,344億円(17.2%)となっています。

◇部門別農業産出額の割合(令和4年)

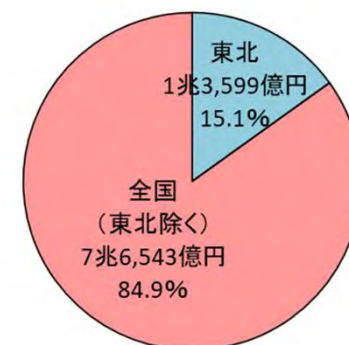


東北計:1兆3,599億円

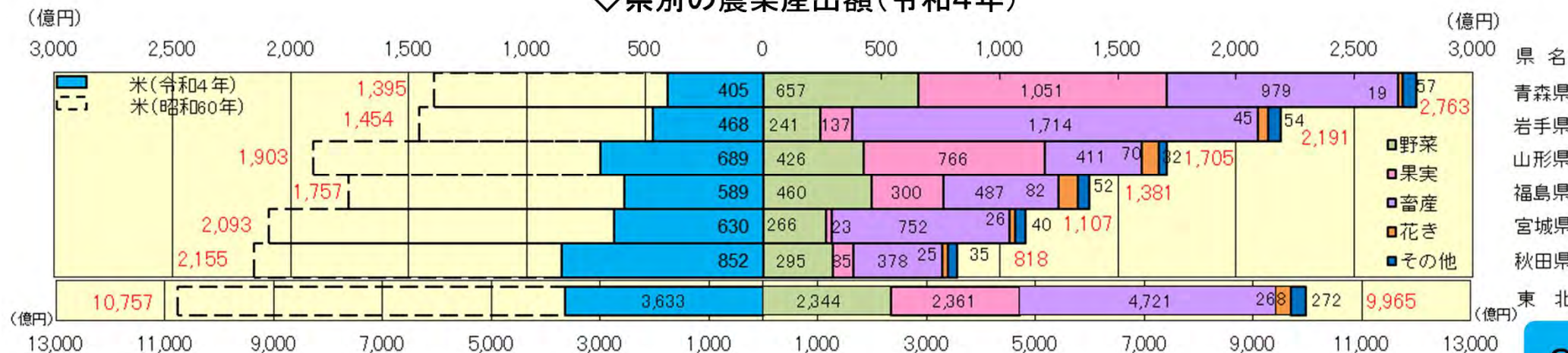


全国計:9兆142億円

全国シェア



◇県別の農業産出額(令和4年)



1 - 3 各県別 主要農畜産物の産出額と順位

➤ 米を中心としつつ、青森のりんご・にんにく、岩手の畜産、山形のサクランボなど、それぞれ特色ある農業が展開されています。

◇青森県◇

順位	品目	産出額	構成比	全国順位
1位	りんご 	988 億円	31.2%	1位
2位	米 	405 億円	12.8%	12位
3位	豚 	240 億円	7.6%	11位
4位	鶏卵 	234 億円	7.4%	8位
5位	ブロイラー 	217 億円	6.8%	4位
6位	肉用牛 	171 億円	5.4%	14位
7位	にんにく 	137 億円	4.3%	1位
8位	やまのいも 	104 億円	3.3%	2位
9位	生乳 	83 億円	2.6%	16位
10位	だいこん 	76 億円	2.4%	3位

◇岩手県◇

順位	品目	産出額	構成比	全国順位
1位	ブロイラー 	599 億円	22.5%	3位
2位	米 	468 億円	17.6%	9位
3位	豚 	370 億円	13.9%	6位
4位	肉用牛 	272 億円	10.2%	6位
5位	生乳 	232 億円	8.7%	4位
6位	鶏卵 	179 億円	6.7%	15位
7位	りんご 	113 億円	4.2%	3位
8位	ひな (他都道府県販売) 	33 億円	1.2%	2位
9位	トマト 	30 億円	1.1%	23位
10位	きゅうり 	26 億円	1.0%	15位

◇宮城県◇

順位	品目	産出額	構成比	全国順位
1位	米 	630 億円	36.3%	5位
2位	肉用牛 	263 億円	15.1%	7位
3位	鶏卵 	153 億円	8.8%	17位
4位	豚 	134 億円	7.7%	16位
5位	生乳 	122 億円	7.0%	10位
6位	いちご 	63 億円	3.6%	10位
7位	ブロイラー 	61 億円	3.5%	13位
8位	きゅうり 	31 億円	1.8%	11位
9位	ねぎ 	30 億円	1.7%	15位
10位	大豆 	28 億円	1.6%	2位

◇秋田県◇

順位	品目	産出額	構成比	全国順位
1位	米 	852 億円	51.0%	3位
2位	豚 	186 億円	11.1%	12位
3位	鶏卵 	89 億円	5.3%	23位
4位	肉用牛 	58 億円	3.5%	32位
5位	りんご 	52 億円	3.1%	5位
6位	ねぎ 	37 億円	2.2%	13位
7位	トマト 	27 億円	1.6%	25位
8位	生乳 	25 億円	1.5%	36位
9位	すいか 	22 億円	1.3%	11位
10位	えだまめ (未成熟) 	21 億円	1.3%	8位

◇山形県◇

順位	品目	産出額	構成比	全国順位
1位	米 	689 億円	28.8%	4位
2位	おうとう 	378 億円	15.8%	1位
3位	豚 	146 億円	6.1%	13位
4位	肉用牛 	145 億円	6.1%	16位
5位	ぶどう 	137 億円	5.7%	4位
6位	りんご 	106 億円	4.4%	4位
7位	生乳 	72 億円	3.0%	21位
8位	すいか 	69 億円	2.9%	3位
9位	西洋なし 	66 億円	2.8%	1位
10位	もも 	47 億円	2.0%	6位

◇福島県◇

順位	品目	産出額	構成比	全国順位
1位	米 	589 億円	29.9%	7位
2位	もも 	152 億円	7.7%	2位
3位	鶏卵 	143 億円	7.3%	18位
4位	肉用牛 	135 億円	6.9%	17位
5位	きゅうり 	100 億円	5.1%	3位
6位	豚 	93 億円	4.7%	21位
7位	トマト 	88 億円	4.5%	6位
8位	生乳 	75 億円	3.8%	20位
9位	りんご 	43 億円	2.2%	6位
10位	日本なし 	40 億円	2.0%	6位

※ 赤字は、全国順位が5位以上の品目。

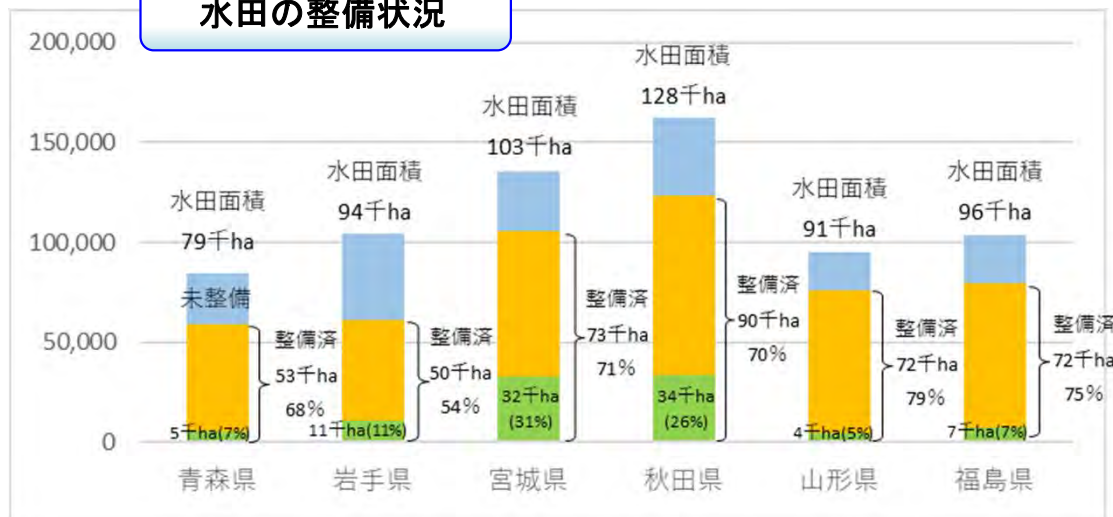
資料:「令和4年 生産農業所得統計」(東北農政局統計部)

2 東北の農業農村整備の 現状と課題

2-1 農地の整備状況

- 東北の水田整備率は、約69%と全国とほぼ同水準。また、大区画(50a以上)に整備した割合は約16%で、全国平均の約12%を上回っている状況です。
- 県別の整備率は、山形県(79%)、福島県(75%)と高く、さらに大区画整備の割合では、宮城県(31%)、秋田県(26%)で高い状況です。

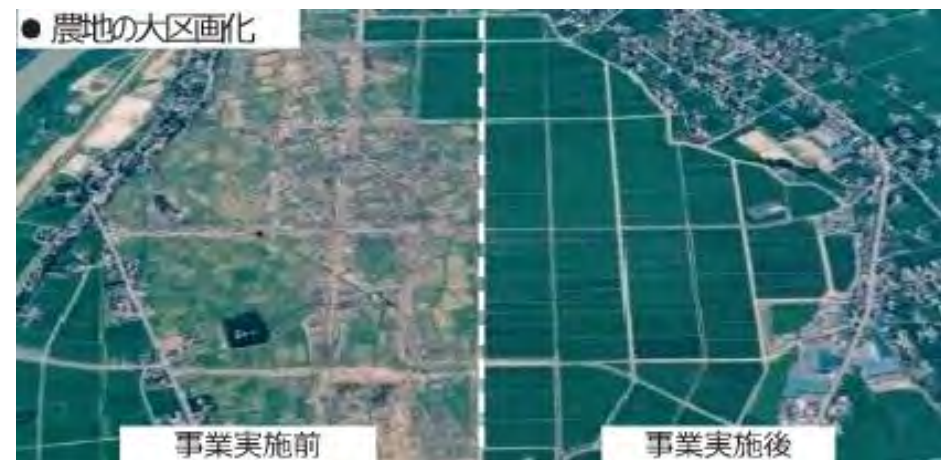
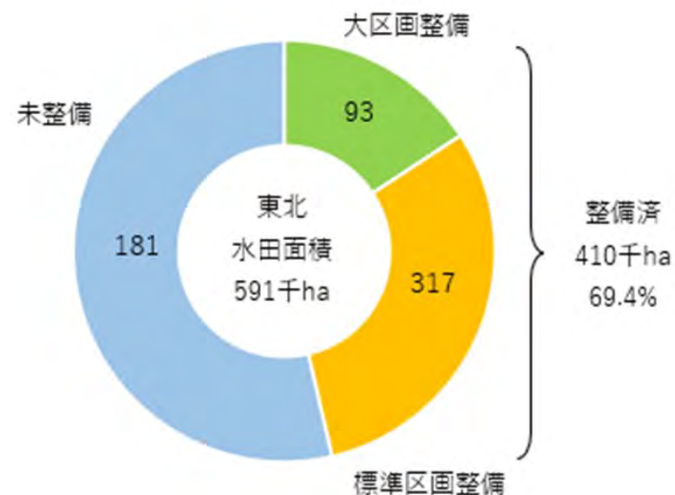
水田の整備状況



水田の整備状況(令和4(2022)年)現在

区分	全国	東北
標準区画整備済	68.0%	69.4%
うち大区画整備済	11.9%	15.8%

資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、
農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」、
農林水産省東北農政局農地整備課調べ
注: 1)標準区画整備済とは、30a程度以上に区画整理された田をいう。
2)大区画整備済とは、50a以上に区画整理された田をいう。



基盤整備を契機とした「ねぎ」のブランド産地化に向けた取組

かづのし
【秋田県鹿角市】

食料安保

デジタル

国産

女性活躍

【工夫のポイント】

- 大区画ほ場整備と併せ、農地中間管理事業による農地集積、園芸メガ団地整備による産地づくりを三位一体で進める「あきた型ほ場整備」を実施。
- 営農の支障となる石礫を破碎処理し、高収益作物への転換を実現。
- 県内トップクラスのねぎ作付けにより、販売額向上を目指すとともに「末広ねぎ」としてブランド化を推進。
- 高収益作物の生産拡大による地域の雇用を創出。

【取組地域の概要】

○位置 かづのし
秋田県鹿角市

秋田県



- 主要作物
・水稲、ねぎ、キャベツ 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備事業(H27~R4)
・農地耕作条件改善事業(H30~)
・園芸メガ団地等大規模園芸拠点育成事業(R1~R2)

大区画化・汎用化による営農の省力化と高収益作物の生産拡大

ほ場の大区画化により営農の省力化を図るとともに、石礫の破碎処理や地下かんがいの導入により水田の汎用化を進め、高収益作物の生産を拡大。



大区画化されたほ場



ねぎ栽培状況

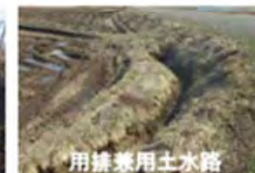
基盤整備
(H27年~)

【整備前】

- 地域内の水路の多くが用排兼用であり、道路・区画ともに狭小で作業効率が悪い。
- 高い地下水位により、排水不良が生じていた。



排水不良田



用排兼用水路

生産現場

「高収益作物」の栽培を促進

- 園芸メガ団地事業により、ねぎの集出荷調整施設の整備や農作業機械を導入し、作付から収穫・箱詰めまで一貫した生産体制を確立。



選別・出荷施設

地域の取組

地域と特産品の認知度向上

- 関東圏との農業交流を通じて、鹿角市と「末広ファーム」をPRするとともに、地域活性化に寄与。
- 「末広産あきたこまち」をふるさと納税返礼品に採用。今後「末広産ねぎ」を追加予定。



富中キャベツ収穫体験



ふるさと納税返礼品 末広産ねぎ

これからの農業を守る若い担い手の確保

担い手

- 地域雇用を積極的に進めるほか、機械化により「農作業＝重労働」のイメージが払拭されたことで、若年層の社員が増加(現在若手社員7名)。
- 女性雇用も積極的に推進し、2名の女性社員がねぎ担当として活躍。
- 農地中間管理機構の活用等により、地区内農地の93%を担い手に集積。



若手(担い手)の雇用

基盤整備とスマート技術が一体となった収益力の向上

- 機械化農業の取組と併せ、暗渠排水による地下水位の低下、石礫の破碎処理等の効果が発揮され、ねぎの収益が向上。

ねぎ収量(kg/10a)

ねぎ収入(千円)



【出典：末広ファーム開取実績】

- ロボット、AI、IoTなどのデジタル技術を活用した「スマート農業」を取り入れることにより、更なる収量増、生産効率の向上及び生産コストの削減を目指す。



GPS自動操舵農機による畝立て



ドローンによる農薬散布

【工夫のポイント】

- 平成28年に地域農業を守るため、2法人8個別経営体の担い手により「**金田地区農業担い手連携協定**」を締結。
- **農業法人でも機動的かつきめ細かな整備ができる農地耕作条件改善事業**を活用。地区の中心的な担い手である「農業生産法人川口グリーンセンター」が事業主体となり実施。
- **経営規模拡大**や**雇用創出**など法人の農業経営や地域生活に寄与。
- **米粉生産・販売**のほか**米の輸出**にも取り組み、**経営多角化**を推進。

【取組地域の概要】

- 位置 くりはらし
宮城県栗原市（過疎、山村、特農）

宮城県

かねた
金田地区



- 主要作物
・水稻（米粉用新規需要米含む）、花き 等
- 主な支援施策
・大規模経営体育成事業（H27～H29）
・農地耕作条件改善事業（R1～R4）

区画拡大による作業性の向上と維持管理労力の低減

- モデル的に区画拡大工事を実施するため、農業法人でも機動的かつきめ細かな整備ができる農地耕作条件改善事業を活用し、平均区画面積を70aに拡大、その結果、**畦畔延長が約64%削減**。
- **作業性の向上**と水管理や畦畔草刈りにかかる**維持管理労力の低減**を実現。



整備された圃場

基盤
整備

（R1年～R4年）

【整備前】

昭和43年から昭和44年にかけて農業構造改善事業により整備されているが、20a前後の**狭小な区画**のため**作業効率が悪く**、また**畦畔等の維持管理に時間を要し**、経営の規模拡大に支障を来していた。



狭小な区画

担い手協定による事業推進

- 平成28年に地区内の2法人8個別経営体により「**金田地区農業担い手連携協定**」を締結。
- 現在、金田地区300haのうち、**200haを担い手に集積**。



担い手連携調印式の様子

経営多角化の推進

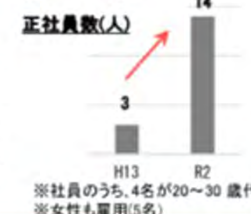
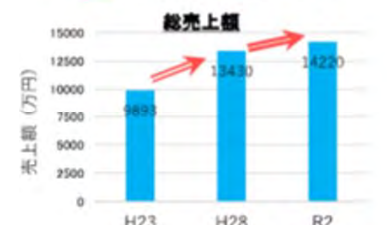
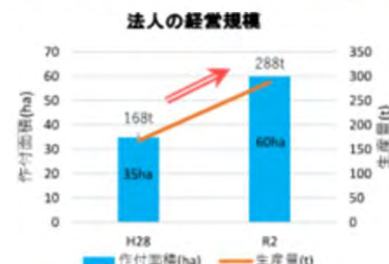
- 「農業生産法人川口グリーンセンター」では、早くから**米粉の生産・販売**を開始。独自のフレンドリーチェーン事業（開業支援）を展開し、**年々店舗数を拡大**（H23:8店舗→R2:20店舗）。
- 直接販売にも力を入れ、通信販売やネット販売に加え、令和2年度からは**米の輸出**にも取り組み、**アメリカへ1.6t輸出**。令和2年度以降も契約継続中（R4実績：アメリカ4.8t、フランス5t、計9.8t）。
- 法人では、米以外にも花き部門経営による**雇用維持**及び**周年就労の確保**のほか、地元商店が減少する中、**農産物直売所も運営**。



フレンドリーチェーン事業で開業した波谷店

法人の経営規模拡大と雇用の創出

- 区画拡大により作業効率が向上し、**経営規模の拡大**が可能となった。また、**売上高も上昇**。



- 過疎化が進む地域にとって**貴重な雇用を創出**。持続可能な農業経営と地域農業・暮らしを支えている。

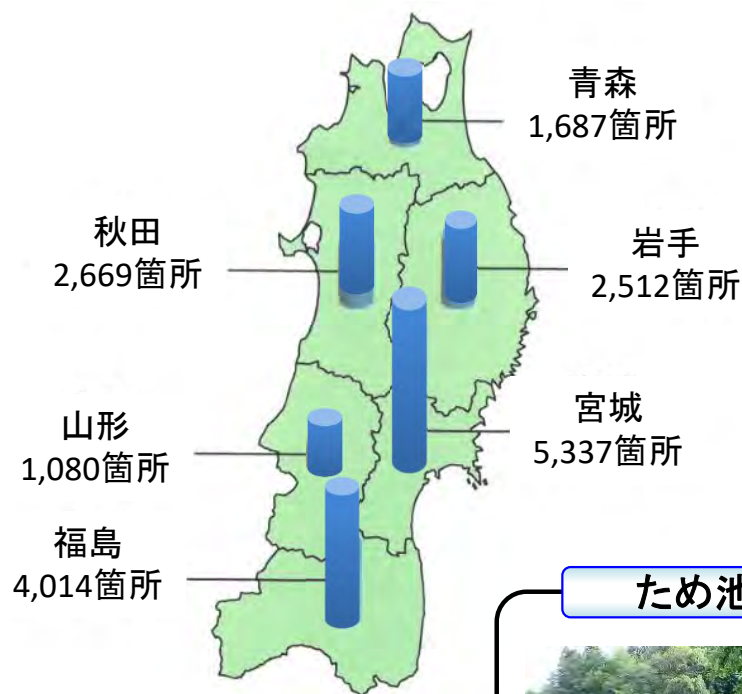
基盤

担い手

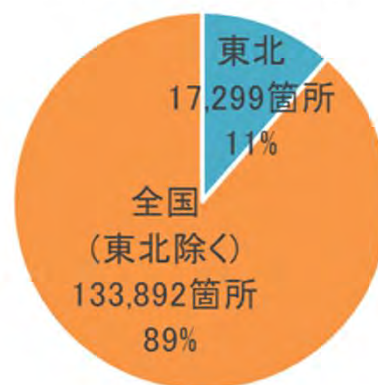
加工・流通

2-2 管内の農業用ため池の状況

- ため池は東北に約1万7千箇所(全国シェア約1割)あり、そのうち、決壊した場合に下流の住宅等へ被害が発生するおそれのある「防災重点農業用ため池」は約4千箇所です。
- 主要なため池の約半数は江戸時代以前に築造されたもので、施設の老朽化への対応を含む適正な維持管理が喫緊の課題となっています。

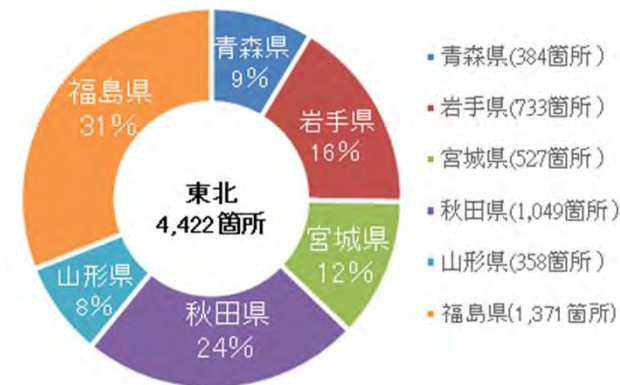


農業用ため池の分布割合
(全国計151,191箇所)



資料：農林水産省調べ（令和5年12月時点）

防災重点農業用ため池割合(東北)



資料：農林水産省調べ（令和6年3月時点）

ため池が決壊した場合の湛水被害のイメージ



【対策のポイント】

- みずなしかわいけ
○ 水無川池は、堤体からの漏水が著しく堤体の高さも不足しているため、豪雨により決壊し、下流の地域に大きな被害が生じるおそれ。
- このため、3か年緊急対策により、洪水吐の拡幅及び堤体の嵩上げを実施。
- ため池の防災工事を完了していたことで、令和2年7月の大雨における被害を回避。

【取組地域の概要】

- 位置 あいづわかまつし
福島県会津若松市



- 主要作物
・水稲

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	1億2,500万円	H29～R1
うち3か年緊急対策	6,473万円	H30～R1

ため池の防災工事を実施

- 3か年緊急対策において、洪水吐の流下能力の向上と堤体の嵩上げを実施。



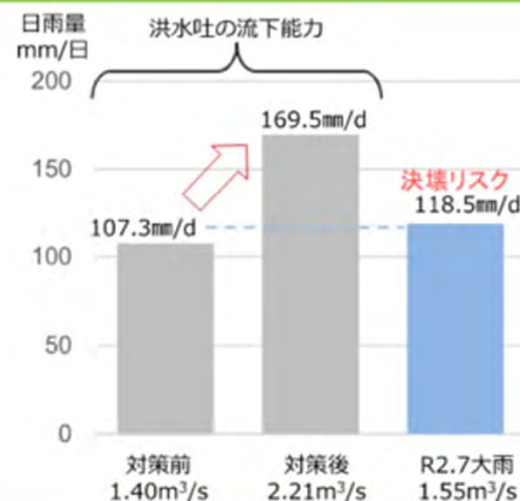
防災工事
(H29～R1)

堤体の決壊を防止し、下流の被害を回避

- 令和2年7月の大雨では24時間雨量118.5mmを観測。
- 従前では被害発生のおそれがあったが、防災工事を完了していたことで洪水が安全に流下。
- 堤体の決壊が防止され、下流の農地、農業用施設及び人家への被害を回避。

想定される被害

	想定被害額	影響を受ける農地及び人家
対策前 (決壊した場合)	1億3,300万円	26.6ha、2戸
対策後	被害なし	被害なし



対策の効果